

基本理念・将来像について

趣旨

基本理念は現行計画の言葉を変えずに引き継ぐことと、将来像は、どんな計画であるか、どんなまちを目指すか、分かりやすく、イメージしやすい言葉として設定しました。また、その実現のための主要な施策も、列挙しました。

頂きたいご意見

- 基本理念に対して
- 将来像の案に対して
- 施策の柱と必要な視点、主要な施策について

1. 基本理念と将来像 (案1)

基本理念

みんなで育てよう 環境にやさしい 水と緑豊かなまち 柏

将来像

Green-Harmony KASHIWA

暮らしの身近な緑（花や植物）や各地域の特色ある水や緑（公園から自然環境）まで、**様々な緑と調和**した魅力のあるまちを目指します。

① ウェルビーイングを支える緑

市民一人ひとりが「柏に住んでよかった」と実感できる“使われる緑”の創出

② 都市の価値を高める緑

「住みたい・来てみたい・投資したい」と思わせる“人を惹きつける緑”を創出

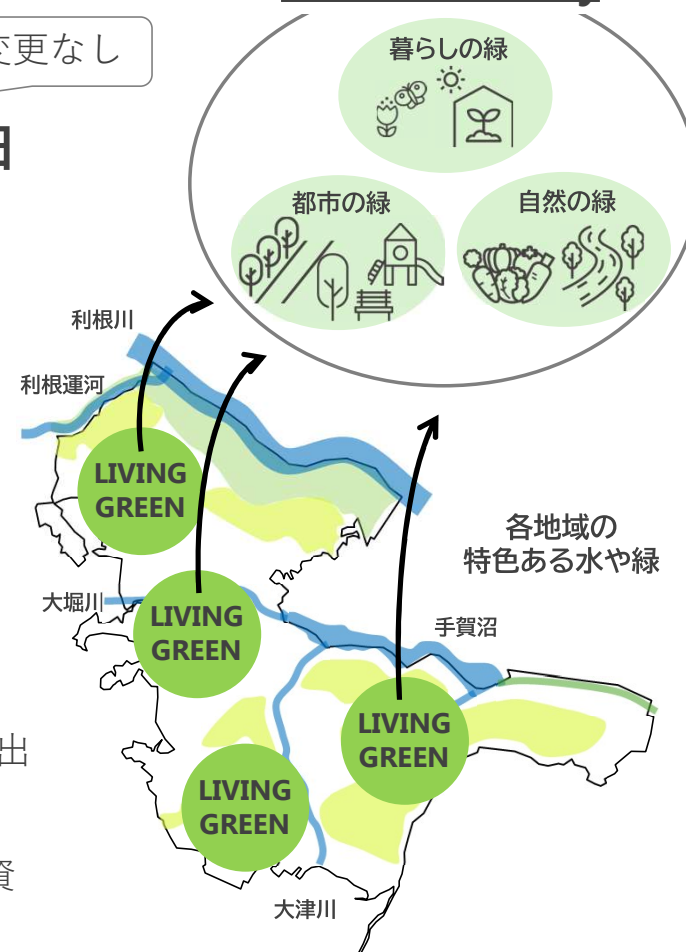
③ インフラとしての緑

防災・減災、生物多様性、気候変動、脱炭素、猛暑などの社会課題の解決に資する“都市を守る緑”を保全・創出

変更なし

今回、新設定

Green-Harmony



「緑」とは、公園、斜面林といった樹林地、手賀沼や河川の水辺、農地などの基盤となる自然環境に加え、民有地の庭や花壇、屋上・壁面緑化など、市民の暮らしの中に広がる多様な緑を含みます。

1. 基本理念と将来像 (案2)

基本理念

みんなで育てよう 環境にやさしい 水と緑豊かなまち 柏

変更なし

将来像

今回、新設定

LIVING・GREEN・City KASHIWA

暮らしの身近な緑（花や植物）や各地域の特色ある水や緑（公園から自然環境）まで、**様々な緑と調和**した魅力のあるまちを目指します。

① ウェルビーイングを支える緑

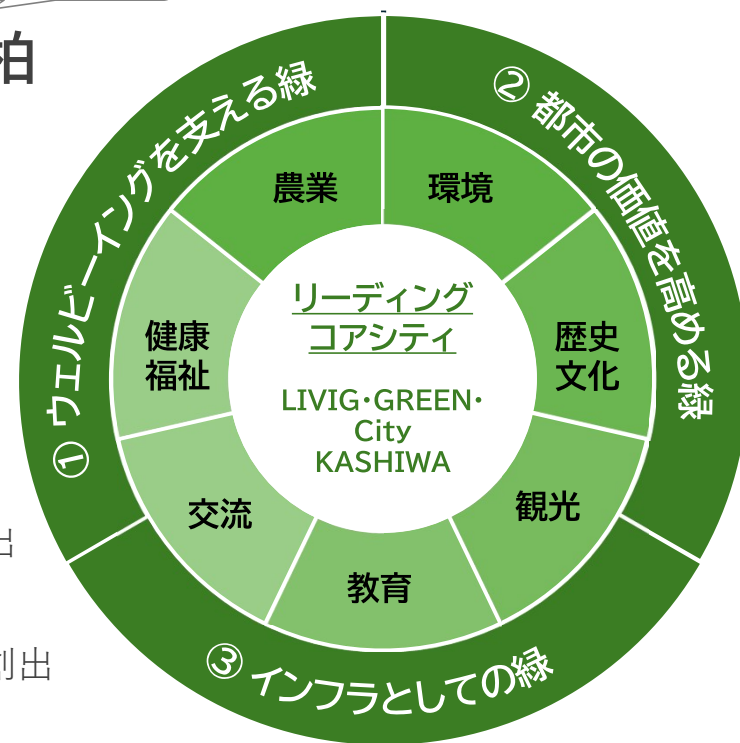
市民一人ひとりが「柏に住んでよかった」と実感できる“使われる緑”の創出

② 都市の価値を高める緑

「住みたい・来てみたい・投資したい」と思わせる“人を惹きつける緑”を創出

③ インフラとしての緑

防災・減災、生物多様性、気候変動、脱炭素、猛暑などの社会課題の解決に資する“都市を守る緑”を保全・創出



「緑」とは、公園、斜面林といった樹林地、手賀沼や河川の水辺、農地などの基盤となる自然環境に加え、民有地の庭や花壇、屋上・壁面緑化など、市民の暮らしの中に広がる多様な緑を含みます。

2. 主要な施策案（リーディングコアシティを支える緑の戦略）

現計画の施策は、
緑の量の確保と緑の保全が主

次期計画の施策は、
緑と調和するまち、市民と緑の関わりを高めることを主に変更

Green-Harmony KASHIWA 又は LIVING・GREEN・City KASHIWA

暮らしの身近な緑（花や植物）や各地域の特色ある緑（自然環境）まで、様々な緑と調和した魅力のあるまちを目指します。

施策の柱①

ウェルビーイングを支える緑

市民一人ひとりが「柏に住んでよかった」と実感できる“使われる緑”を創出

- 居心地のよい公園PJ
- 子供の環境学習
- 市民が活動しやすい環境や仕組みの再編
- カシニワグレードアップ
- 都市農地の利用促進

施策の柱②

都市の価値を高める緑

「住みたい・来てみたい・投資したい」と思わせる“人を惹きつける緑”を創出

- TEGA-GATE 構想（手賀沼）
- 柏駅周辺の緑化
- 柏の葉の田園都市づくり
- あけぼの山周辺地域振興事業

施策の柱③

インフラとしての緑

防災・減災、生物多様性、気候変動、脱炭素、猛暑などの社会課題の解決に資する“都市を守る緑”を保全・創出

- 雨水浸透などの促進
- 緑陰によるまちづくり
- 企業参加による森づくり
- 大堀防災（フェーズフリー）
- 剪定枝、伐採木の再利用

+ 必要な視点

- 情報発信の強化
- 民間資金とノウハウの積極的活用